

## 富山大学 国際機構「日本語プログラム」上級クラス

|                             |                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業科目名                       | 会話C2                                                                                                                                                               |
| 担当教員                        | 永山 香織 (NAGAYAMA, Kaori)                                                                                                                                            |
| 開講学期曜限                      | 後期 (秋期)・水曜日 3 時限                                                                                                                                                   |
| 対象                          | 〔総合日本語コース〕 日本語日本文化研修留学生、協定校からの交換留学生<br>〔日本語課外補講〕 全学の外国人留学生、外国人研究者                                                                                                  |
| 単位数                         | 単位は出ません。総合日本語コースでは国際機構長名で履修証明書（成績記載）を発行します。                                                                                                                        |
| 授業のねらい                      | 日本人学生との会話を通して、よい話し手であると同時に、よい聞き手になることを目指します。大学生活や日常生活で出会う状況での会話力を伸ばし、より適切に会話の目的が果たせるようにします。また、専門において必要な口頭発話能力（発表、スピーチ、討論など）の基礎を学びます。                               |
| 達成目標                        | (1) 大学生活や日常生活で出会う状況に、適切に対応できるようになる。<br>(2) 多少複雑な内容についても、わかりやすい描写、説明ができるようになる。<br>(3) 論理的で説得力のある意見が述べられるようになる。<br>(4) 人間関係を考慮したコミュニケーションができるようになる。                  |
| 授業計画<br>(授業の形式、<br>スケジュール等) | 1 週目 オリエンテーション、経験を話す<br>2～3 週目 自分や国について話す<br>4～5 週目 トピックを考える<br>6～7 週目 物事を多角的に見て意見を述べる<br>8～9 週目 説得力のある意見を述べる<br>10～12 週目 状況や仕組みを説明する<br>13～15 週目 災害が起きた時の行動について学ぶ |
| 授業時間外学修<br>(事前・事後学修)        | 事前学修：各回のトピックについて話す内容を考え、必要に応じて資料を Moodle に投稿してください。<br>事後学修：日本人学生との活動をふり返ります。                                                                                      |
| キーワード                       | 日本語 中上級 状況への対応 わかりやすい描写・説明 説得力のある意見<br>よい聞き手                                                                                                                       |
| 受講上の注意                      | 出席できない場合は、連絡してください。                                                                                                                                                |
| 教科書・参考書等                    | 使用しません。毎回、プリントを配布します。                                                                                                                                              |
| 成績評価の方法                     | 授業への参加度:20%、各回のタスク達成度:40%、発表の結果:40%<br>(欠席が多い場合は評価対象外とします。)<br>*日本語課外補講は成績評価を行いません。出席回数、試験の点数を記録します。                                                               |
| 関連科目                        |                                                                                                                                                                    |
| 備考                          | 前期(春期)と後期(秋期)は扱うテーマやトピックが異なります。                                                                                                                                    |